

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	オーエンス泉岳自然ふれあい館
2 指定管理者	株式会社オーエンス
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数(延べ)》59,913人(前年度比71%) (令和2年度)本館:20,336人,市民キャンプ場:5,917人,休憩コーナー:30,850人,古民家:2,810人 (令和元年度)本館:38,150人,市民キャンプ場:10,296人,休憩コーナー:32,906人,古民家:3,151人 (平成30年度)本館:42,579人,市民キャンプ場:10,645人,休憩コーナー:37,501人,古民家:4,318人</p> <p>《事業》 ○受入れ事業 本館:280組 延べ11,911人(小学校,中学校,子ども会,家族,幼稚園,保育園,他) ○主催事業 50事業:延べ1,080人 ※ボランティア事業含む ○野外活動ボランティア事業 養成講座修了者:1名,登録者:89名,ボランティア支援:52回 延べ207名 ※上記の事業の他に,泉ヶ岳の情報の収集と利用者への提供,軽食堂及び売店の運営,下見対応等を行っている。</p>
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 132,995千円 (129,514千円) ・ その他市が負担した費用 4,648千円 (4,822千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 3,669千円 (8,045千円) ・ その他収入 15,463千円 (33,488千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケート(R2.4～R3.3に実施) ・ 事業参加者アンケート(R2.4～R3.3に実施)

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	教育委員会が定める運営の基本方針に加え,指定管理者独自の基本方針が策定されており,その周知も行われている。また,集団宿泊活動や自然体験活動等の支援が適切に行われており,施設の設置目的が達成されている。	30/30
II 施設の運営管理体制	職員体制について,一部仕様書の規定を満たさない時期が一定期間あったものの,開館時間,指定管理料の執行状況等は仕様書のとおり適正である。個人情報保護及び情報セキュリティ対策については,必要な対策が講じられている。また,事故防止及び災害発生時の対応状況については,マニュアル等が整備されており,定期的にセルフチェックや訓練を実施するなど職員への周知も行われていることが確認できた。	28/29
III 施設・設備の維持管理	建物・設備に目立った損傷等は見られず,発見された不具合についても適正な対応が図られており,利用者が安全に利用できる状態が保たれている。また,環境負荷軽減については,仕様書に基づき取組みが行われていた。	24/24
IV サービスの質の向上	職員のマナーについては,マニュアルの整備,研修の実施等により適正である。施設の利用情報の提供については,ホームページやフェイスブック,リーフレット,新聞,フリーペーパー等により周知が図られている。また,利用者アンケートを実施し利用者の意見を取り入れた改善を検討するなど,サービス向上の取組みも行われている。	28/28
V 施設固有の基準	泉岳自然ふれあい館の利用について説明するオリエンテーション動画を新たに作成,配信することで,利用者の事前学習に寄与している。 売店や軽食堂の運営について,地元産品を積極的に取り入れ,泉ヶ岳周辺地域の振興に資する取組みがなされている。野外活動支援については,仕様書のとおり適正に行われており,怪我や急病にも適切な対応が図られている。運営上求められる保険加入については,仕様書のとおり適正である。	23/22

三 評価総括

《指定管理者（株式会社オーエンス）による自己評価》
<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館等により、利用者数は59,913人であった。しかし、市民キャンプ場の利用組数では2年連続で900組を超えたことや休憩コーナーへの来館者数(30,850人)も5年連続で3万人を超え市民への認知度の高さが伺える。利用者アンケートからは利用者の9割以上が利用目的の達成に満足していた。</p> <p>新型コロナウイルスへの対応として、休館中は昨年度からの児童生徒向けFacebookでの動画配信(クラフトや手遊び・料理、ふれあい館周辺の植物紹介等)と新たにYouTubeでのオリエンテーション動画配信を行った。対応マニュアルやオリエンテーション動画等の受入態勢を整えたことで「参加者も保護者も安心して活動できた。」などのご意見をいただき、利用者への安心・安全な活動場所の提供ができた。</p> <p>主催事業では、2021年からの本格的な実施に向けて、課題を抱える児童・生徒を対象にした「泉ヶ岳自然ふれあい塾」を開催し、少人数制を生かしたきめの細かい対応で参加者の満足度の高い事業を実施することができた。ボランティア事業では「養成講座(4回)」「スキルアップ講座(10回)」を開催した。ボランティアによる活動支援は延べ52回207名のご支援をいただき、学校利用時の登山支援や歩くスキーの支援等は先生方から喜ばれた。ボランティアの皆さんはふれあい館にとって心強い存在であり、今後もボランティア活動の目的とふれあい館の事業がマッチした場面で協力関係を築いていきたい。</p> <p>維持管理面では、新たに全職員による施設内外の目視点検を定期的実施し、施設設備の不具合への意識向上と情報共有を行い、施設管理に対する意識向上を図った。今後も青少年の健全育成と市民の生涯学習振興に尽力し、柔軟な事業展開で市民に喜ばれるサービスの提供に取り組んでいく。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、R2.4.11～R2.5.31及びR3.3.26～R.3.31の期間において臨時休館等の措置をとったことから、延べ年間利用者数は59,913人（前年度比71%）にとどまった。学校利用分については、当初予定されていた日程の変更を、学校の希望を基に柔軟に対応したことや、臨時休館の期間を中心に、積極的な広報活動（Facebookでの発信、公式YouTubeでの動画公開）等を行ったことにより、臨時休館の解除後は、コロナ禍前の令和元年度を上回る利用者数実績となる月もある程に、順調な利用者数の回復に努めたことは評価できる。</p> <p>また、主催事業について、「泉ヶ岳自然ふれあい塾」を新たに開催した点について、児童・生徒のニーズにきめ細やかに配慮した内容での実施により、参加者の満足度は高い結果となった。今後の新たな主催事業の開催検討に活かせるものであったといえる。</p> <p>利用者アンケートでは、いずれの項目においても良好な回答が得られており、利用者満足度は高い水準を保っている。施設の清掃状況については、特に満足度が高く、常に清潔で衛生的な状態である。</p> <p>なお、当施設の運営管理について、職員体制に関して一部仕様書の規定を満たさない時期が一定期間あったものの、開館時間、指定管理料の執行状況等は仕様書のとおり適正に執行しているといえる。</p> <p>以上のことより、第1期に引き続き安定した施設運営ができておりと評価する。今後は、指定管理者としてこれまでに蓄えたノウハウを活かしたより効率的な施設運営や効果的な広報、魅力的な事業の企画等が期待されるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を含めた利用者が安心して利用できる施設運営についても、引き続き注力いただきたい。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>臨時休館を中心に、オリエンテーション動画や、施設周辺の自然を紹介する動画等の作成を自主的に行った点について、青少年の自然体験を通じた学び体験を提供する施設としての、新型コロナウイルスによる新しい生活様式への適用方法模索として、評価ができる。</p> <p>また、臨時休館の解除後は、「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」の作成・周知、館内での感染防止対策に関する掲示、職員間の情報共有等により、感染拡大防止策を十分講じたうえでの施設再開ができています。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課